
EPS Assist Changer

AC-86取扱説明書

VRリモコン

この度は本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
以下の説明をお読みになってから、ご利用ください。

1、同梱品

下記のものが入っていることをご確認ください。

- ①AC-86 コントローラ本体
- ②リモコン+④リモコンケーブル
- ③CANケーブル
- ⑤アースケーブル

2、接続方法

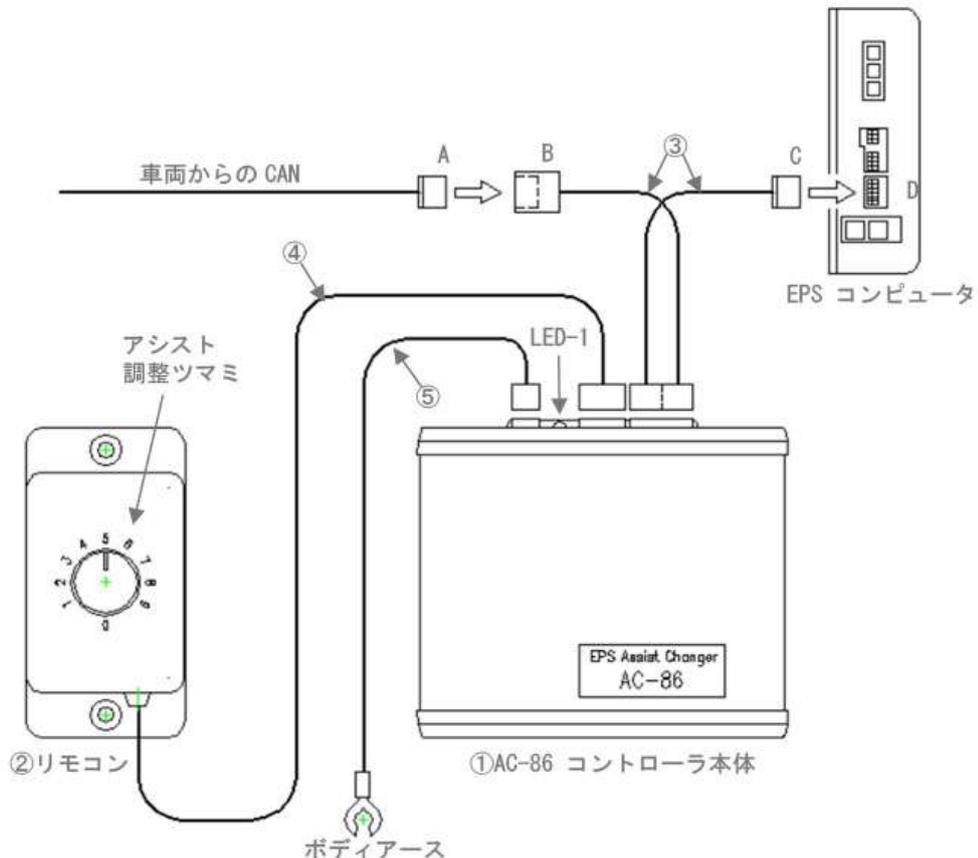
上記①～⑤の全てを下図のように接続します。

接続後は、車両の電源を入れてから、リモートコントローラのアシスト調整ツマミを0（ゼロ）の位置にした時に、LED-1が緑色に点灯することを確認します。
点灯しない場合は、各コネクタ部の接続とボディーアースの接触を確認してください。

尚、各コネクタにはロック機構があります。

接続するときは押し込むだけですが、外すときは、コネクタのケーブル側となるコネクタプラグの一部を押してロックを解除しながら、ケーブルではなく、コネクタプラグを掴んで外してください。

また、カプラAとBの接続は向きに注意して、B内のピンを曲げないようにして下さい。
(3ページ目に詳細説明があります。)



3、使用方法

A C - 8 6 の操作は、リモコンで行います。

○ドリフトモード・・・アシスト調整ツマミを1～9の位置にします。

このモードのときは、LED-1が点灯し、
アシスト調整ツマミの位置を変えることによりアシスト力が増減します。

○街乗りモード・・・アシスト調整ツマミを0（ゼロ）の位置にします。

このモードのときは、LED-1は消灯し、
従来通りの車速感应型となり、EPSのアシスト力は車速に応じて変化します。

尚、モード切り換えは、いつでも可能です。

*** ご注意**

アシスト力が大きくなるほど、ハンドルは軽く動かしますが、
モーター駆動回路に流れる電流が大きくなり、発熱も大きくなります。
そして、EPSコンピュータは一定の温度以上になると、
モーター駆動回路が熱で壊れることを防止するため、
過熱保護モードになりアシストを停止します。
このことは特に、走行中に、この過熱保護モードに切り替わると、
ハンドルが突然重くなり危険です。
※これは、A C - 8 6 が原因ではなく、車両のEPSシステムの仕様です。

そこで、過熱保護モードを避けるため、アシスト調整ツマミは、
出来るだけ小さい数字の位置で使用されるようにお願いします。

○お断り

本製品は、競技用であり、使用したことによる事故、怪我、機会損失など、
損害に対しては本製品の製造者は一切責任を負わないことをご承知ください。

以上

* カプラー接続時のご注意

車両からのCAN信号と+12Vとを車両とAC-86に接続するカプラーのソケットBには、挿入方向を間違えないためのキー溝がありません。間違えて無理に押し込むとソケットB内部の細い接続ピンを曲げてしまいます。そこで、プラグAとソケットBとを下図のように向かい合わせて、互いに同じ色の線材が接続されるように挿入してください。

